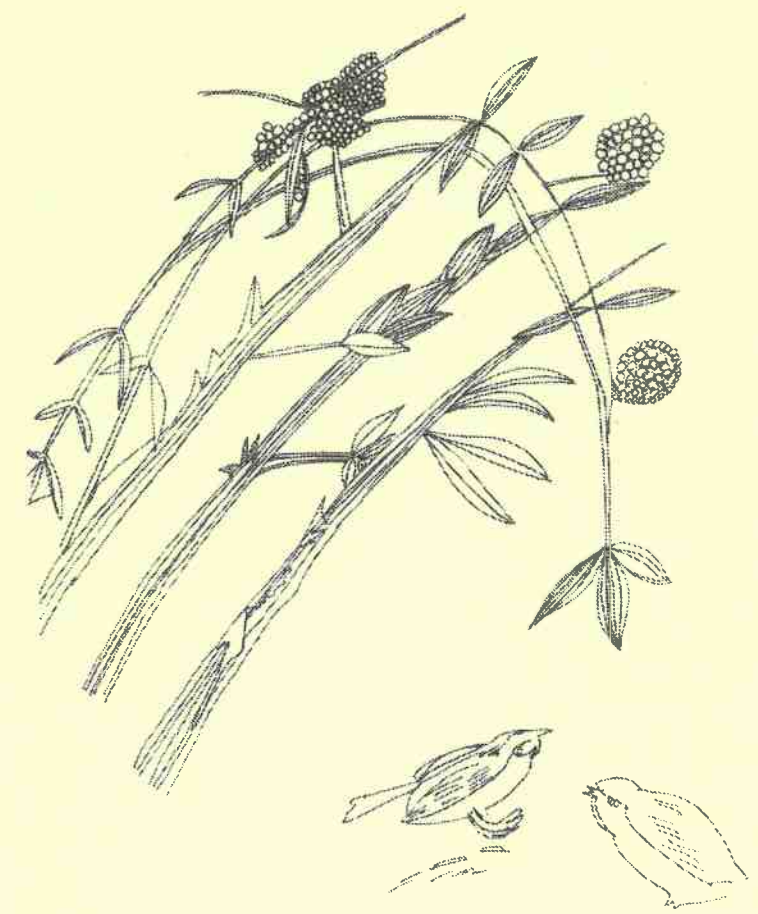


ふれあい雪谷

平成18年
新年号



(小池 門倉 エさんの作品)

母校の思い出 24 赤松の半び舎

オリンピックの開催年に生まれた私が入学した頃には、まだ木造校舎が残っていた。きしむ階段・踊り場にある大鏡・廊下のつき当たりの音楽室には黒光りのグランドピアノ・赤松の七不思議の一つに含まれていたこともあり、1年生の私には少し怖さを感じた。

しばらくすると新校舎になり、生れ変わった音楽室では、運動会の鼓笛隊に演奏する“宇宙戦艦ヤマト”の曲を一所懸命練習した。今では運動会にかかせぬ曲となっているようで嬉しく感じる。

入学当時より卒業までは校庭はコンクリートだった。放課後は男の子も女の子も残って走り回っていた。あるとき私はころんでケガをしたので一緒に遊んでいた皆がハンカチやちり紙で手当てをしてくれて赤チンキをぬったのを傷跡と共に思い出になっている。

朝礼のときの国旗掲揚の時間は皆静かに旗を仰ぎ厳粛さを覚えた。曲が終わると同時に国旗が上がり切るタイミングの素晴らしさに、係の上級生にあこがれた。



1・2年のときの三井先生は、お行儀・忘れ物・遅刻等自分が困る事人に迷惑かける事にとっても厳しく、良い事は本当によくほめた。3・4年のときの藤井先生は自分の色々な体験をたくさん話してくれた。5・6年のときの島田先生は計算ドリルを使って算数野球なるゲームをして楽しみながら(?)学んだ。給食はたまに出るカレーライスが楽しみだった。くじらの竜田揚げ煮もおいしかったなあ。丸暗記をしていた校歌もとても素晴らしい美しい内容であり、その学校を卒業出来たことを誇りに思いつつ感謝している。

♪ああ われら はらから われら♪ 後輩たちよ、はらからを大切に！

(小池 高橋 裕子)

〔編集後記〕

新年おめでとうございます。
創刊以来十六回目の新年号をお届けします。

昨年は日本各地のほか、世界中において、異常気象、温暖化等による自然災害が多くあり、大勢の被害者が悲しい思いをしました。また、テロ等の被害にあわれた方々もたくさんいました。
地球環境の悪化するなか、皆様方が少しでも気持ちよく安心して生活できるように心から願っています。

(東中 直井 絵枝)

〔発行〕わがまち大田雪谷地区推進委員会
〔編集〕ふれあい雪谷編集委員会
連絡先 大田区東雪谷四一三―一三七
電話 三三二九一五―一七
〔発行日〕平成十八年一月一日
通巻第六十一号

ホームページ
<http://www.city.ota.tokyo.jp/nishi/yukigaya/index.htm>

サークル紹介 30 丘の会

平成元年七月、石川町文化センターで主催の俳句講座があり、十回の講座終了後有志二十数人で「丘の会」が発足しました。以来十七年、何人かの会員の變動を刻みながら月二回の句会を確実にこなし、句会ことの全作品掲載の通信プリントは四百号を超えました。会員は各種俳句大会にも応募して入賞入選を記録しています。

吟行も地元大田区の観梅桜狩などを始め、日頃から交流関係にある「奔流」や「ニッセイ同和火災OB俳句同好会」とも合同して、箱根、軽井沢などへの一泊旅行なども行っています。講師南雲愁子先生の師系は石田波郷、現在は俳句結社「奔流」の主宰です。



定例会句会は毎月第二・第四水曜日の午後七時から九時、石川町文化センターで肩ひじ張らない不揃いの句会とでもいいたいような。和気あいあいとしながらも熱っぽい句会が続いています。そんな雰囲気の中で初心者の方も、二、三ヶ月もすれば、初心者だったことを忘れる程です。一度のぞいてみませんか？

(笹丸 亜井 道夫)

私の健康法 22

人にはそれぞれの健康法があると思う。

私はいつも自然流を心がけている。体はどこかが悪いと必ず信号を出す。それがわずかな痛みであったり、体の調子がいづもどこか違うなと感じることであったりする。

このときは本人しかわからない。多くの人は多忙など都合の良い理由をつけて無視することが多い。

こんなとき、私は医者にみてもらうことにしている。ただし痛みの伴わないガンだけはステルス作戦をとるので気がつかない。

これには年一回の人間ドックで対応している。

一方では健康を維持する上で物事に対する考え方が大切だと思っている。要はストレスと仲良くしない事だ。失敗したとき、あるいは過ぎ去った事は気にしないようにしている。自分に厳しくする事で相手を認めるようにしている。気分を和ませる笑いをするようにグジャレのネタを常に探している。長年の習慣で少しも苦にならない。現状を思うまま書いてみたら私の健康法は体への気遣い法かも知れない。

(上池上 綱嶋 登喜雄)



成年男女 今年の抱負

12才

私は書道を習っています。今は優級ですが、2つ上がれば準初段です。準初段になれば『かな』を習う事ができます。なかなか上にあがるのは難しいのですが、今年こそ準初段になりたいと思っています。

(東雪 大友 菜)



24才

二回目を迎えた年男のこの12年間は大きく変わったと思います。12歳までは自分中心で全てを計っていましたが、この12年間は、家族と大勢の方々に出会ったおかげで、相手方の立場で物事を見られるようになりました。

この速い変化の社会で、自分を見失わず、節目々で立場をわきまえ、責任を果たして行きたいと思っています。

(笹丸 小林 真士)



36才

「今年の抱負」

大学を卒業。社会の仲間入りをしてはや13年。光陰矢のごとしとは、昔の人はよく言ったものです。私も今年で「人生半分」この成年を契機に、会社では上司対部下との中間にあって、仕事及びコミュニケーションの仲を取り持っている。そして家庭においては楽しい幸せ一杯の充実せる毎日を望み、努力を重ねていきたいと思っています。

(小池 池田 隼人)

48才

新年を無事迎えられた事に感謝しています。今年はいろいろな事にチャレンジ。前進あるのみポジティブにそして毎日楽しく健康に過ごせる様に努力していきたいと思っています。

(南雪谷 SM)



60才

「還暦をむかえて」

子を産み育て、夢中で生きてきた人生をふと振り返れば、はや60年、今では負うた子に教えられを地でいく、立派なオバチャンである。これからも、すっかり身についたずうずうしさを武器にして、勇気・元気で70才を目指して歩いて行きたいと思っています。

(上池上 Y.E)

72才

成年とは関係がないのですが、裁判所のお手伝いをしながら感じていることに、世の中の争いごとのほとんどが言葉の不足から来ているように思います。

言葉の始めはあいさつですから、私も家内を見習って近所の方達とのあいさつから始めたいと思っています。そしてより住みよい町になることを願っております。

(池の台 S.K)

成人式を迎えて

成人。早いもので自分もとうとう成人式を迎える。だが、あまり実感がわかないのが本音だ。

この20年間、色々な出会いがあった。その出会いは自分をすごく成長させてもらった気がする。でも、一番は親である。たくさん迷惑をかけたが、少しずつでも親孝行をしていきたいと思っている。今は学生だけど、就職して、稼いだお金でみんなで飲みに行きたいな。

子どもから成人という一つの節目を迎えて、今後の目標は「楽しく生きる!!」。これから先、苦しいことや辛いことなどたくさんあると思うが、この目標を忘れないで頑張っていきたい。

(東雪谷 K.F)



Where there is a will, there a way

小学4年のとき、“ $\frac{1}{2}$ 成人式”をした。

本当の成人式を迎える自分へメッセージを書き、将来就きたい職業の格好をして写真を撮った。白衣を着ている10歳の私の写真が残っている。

小さい頃から医師になるのが私の夢だった。現在その夢の実現のため大学に通っているが、ここで止まってはいけないと改めて感じる。小さい頃の自分を裏切らないように頑張っていきたいと思う。

今振り返ると“ $\frac{1}{2}$ 成人式”からの10年間はあっという間だった。タイトルは“志あるところに道あり”という意味で私の座右の銘である。支えてくれている家族や友だちに感謝しながら自分の道を突き進んでいきたい。

(池の台 MK)



美しい環境づくり⑧

雪谷的「ロハス」

この町に生まれ育って30数余年。幼かった頃を思い出してみると、中原街道沿いの歩道はデコボコ。呑川は大雨や台風の度に氾濫。だけど八幡神社には紙芝居のおじさん、路地裏では缶けりや警ドラなどでよく遊んだものだ。昼間鍵をかけている家などほとんどなく、我が家にも「上がるわよ!」とチャイムなど鳴らすでもなく居間に入ってくる。そんな近所のおばちゃんがいたのも今では懐かしい。

今では歩道はきれいに舗装され、呑川は雨さえ降らなければコンクリートの川底が見えるほどの水量。安全に生活ができるようになった。しかし以前あった企業の社宅跡地には大型マンションが建ち、人口が増えているはずなのに八幡神社にも路地裏にも遊んでいる子供たちの姿を見ることが少なくなった。少子化とは言えどもいったいどこで遊んでいるのであろうか。そしてこの数年で私は玄関先に置いてある自転車を2度も盗まれた。数ヶ月経つと区から連絡が入る。引き取りにきてほしいと…。

将来この町はどの様になっていくのだろうか。不安もあるが大変興味もある。昔味わった楽しかった遊びや地域のコミュニケーションを再び見直し雪谷的「ロハス」を構築してみたらどうだろうか。そのようなことを考えていると昔の町に運ばれていくような気分になる。

(南雪谷 吉田 みゆき)

自治会リレー随筆

防犯と犬の散歩

近年世の中が物騒になり、ボランティアのパトロールをしていたり、子どもさんを自動車で送り迎えをしたりして、何となく肌寒い世の中に感じられます。

そのような中、犬を連れて歩く方を見ると、とても心が温まる感じがします。それだけでなく、犬の散歩が防犯にとっても役に立っていると思います。昔は通り道に子どもが遊んでいて、知らない人が通って犯罪が起きると子どもたちが覚えていて、犯人逮捕につながった例があったようです。

通勤時以外の人通りの少ない時の犬の散歩とか、ジョギングは結果的に防犯に役立っている訳です。

犬のフンの始末さえしっかりすれば、犬の散歩はジョギングにもなり、子どもの情操教育にもなり、色々な人との交流にも役立ちます。夕方6時頃に東調布公園に行くと、10匹以上の犬が集まって色々情報交換に役立っているようです。犬の好きな私は、犬を連れて行かなくても犬がなついてくれて、皆さん親しくして下さり良いサークルになっています。

また犬の第六感はとても敏感で、昔、宮本武蔵は技が未熟で殺気立っていたとき、犬にほえられて師匠に叱られました。技を磨いて精神が落ちついたら、犬にほえられなくなったといひます。犬の散歩のとき、あやしい人を見たら犬が知らせることがあるかも知れません。

私は今はウォーキングのみですが、また以前のように犬を連れて歩いて、防犯の役にも立ちたいと思っています。

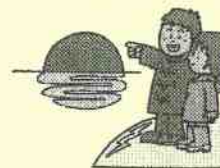


(希望ヶ丘 木原 恵)

短歌

元旦の東京の空は凜として
静かな朝の初陽拜む
香り立つ門松梅の楚々として
早や六十路をは迎ええらまし

(小池 高橋 久子)



初詣で屠蘇獅子舞に気新たに
梅薫る日射しの下に福寿草
初孫のお雛様いじる愛らしさ

(希望ヶ丘 内堀 伊織子)

俳句

注 ロハス(LOHAS)

Lifestyles Of Health And Sustainability (健康で持続可能な生活様式) 頭文字の略語

この情報紙は古紙100%の用紙を使用しています。